

令和8年度 地域連携推進会議 議事録

日 時 令和8年8月18日（火） 11:00～12:00

場 所 天神町 グループホームみらい

出席者 グループホーム入居者
推進委員
グループホームサービス管理責任者
グループホーム職員

1. 開会の挨拶

サービス管理責任者より開会の挨拶

- ・事業運営への協力、理解への御礼

2. 自己紹介・出席者紹介

自己紹介・出席者欠席者の紹介

3. 会議の趣旨・目的

グループホーム職員より地域連携推進会議の趣旨を説明

- ・利用者と地域との関係づくり
- ・地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- ・施設等やサービスの透明性・質の確保・利用者の権利擁護

4. グループホーム運営状況報告

事業所から以下の事項について説明

- ・入居者状況
- ・職員体制
- ・日常生活の様子
 - ―食事
 - ―一日中の過ごし方
 - ―休暇中の過ごし方
 - ―他利用者さんとの関わり
- ・運営課題

☐ これらを通じ、利用者さんが安心して生活できる体制や支援方針について共有した。

5. 質疑応答・情報共有・意見交換

(1) 推進委員の意見・質問

- ・食事はどうしているのか
- ・入居者の皆さんは仕事に行っているのか

□ 上記の意見・質問に対して、事業所の現行体制や支援方針について説明した。

(2) 利用者さんへの質問

- ・時々お会いしますね、覚えていますか
- ・どのような仕事をされていますか
- ・車で行かれていますか

□ 上記の質問に対して、利用者さん本人から回答があった。

6. 閉会の挨拶

- ・出席者への御礼
- ・今後の事業運営への協力をお願い

7. その他

・マンションと同じように特別な施設というよりも、地域にある一般の住まいの一つとして見ている。利用者の入れ替わりもあることから、地域としても特定の利用者や事業所と固定的に関わるというより、その時々に必要な範囲で関わっていくことになるのではないかとの話があった。

・以前、夜間に利用者が出入りする様子を見かけた際に、少し心配に感じたことがあったが、特に問題になるようなことではないだろうと考え、当時は事業所へ伝えなかったとの話があった。これに対し事業所からは、今後、気になることや心配なことがあれば、些細なことでも遠慮なく気軽に伝えてほしい旨を回答した。

―会議を通して確認できたこと・今後の課題―

- ・地域関係者が気になったことや不安に感じたことを、事業所へ気軽に相談・連絡できる関係を維持する。
- ・地域連携推進会議を形式的な事業所説明の場とせず、地域関係者から率直な意見を聞き、事業所運営や利用者の地域生活に活かせる機会としていく。

・今回の会議では、グループホームの運営状況に関する意見交換に加え、近隣の生活環境や日常の出来事、ご近所の話など、事業所の運営以外の身近な話題も多く交わされ、地域関係者と事業所との距離を縮める機会となった。

今後もこうした自然な会話や交流を大切にし、気軽に声を掛け合える関係を築いていければと考える。

8. 施設見学後、解散

※ 本議事録は、個人情報に配慮し、会議内容を要約した公開用議事録です。